

♪ みんなにこにこ！笑顔につながる おてつだい♪
チームみねっぴ～の とくべつしえんだより



一人一人ちがう「特別な存在」として 大切な子どもたち

～ 「その子に合った かかわりかた」を知ること、その子の小さな成功体験に つながりますように ～
新年度がスタートし、2か月が過ぎようとしています。ご家庭での子どもたちの様子はいかがでしょうか。

峰小学校の校庭を見渡すと、長い時間をかけ、子どもたちを見守り続けてきた樹々が、5月の風に吹かれています。その樹々のやわらかな新緑が、大空に向かい、おひさまの光をいっぱいあびながら、それぞれのペースで「ぐんっ！」と伸びようとしています。このやわらかな新緑のように、峰小学校の一人一人ちがう子どもたちも、自分のもてる力を十分に発揮しながら、安心して学校生活を送ることができますよう、峰小学校のオールスタッフで、随時、協力したり役割分担したりしながら、日々、支援を重ねているところです。

さて、ご家庭での子育ての日々においては、いろいろと思悩むこともあるかと思います。

そこで、今回は、「NPO法人えじそんくらぶ代表の高山恵子先生」の「子育てストレスを減らすヒント」の資料から「子どもには、『変わりやすいところ』と『変わりにくいところ』があること」について抜粋した内容をご紹介します。一括りにすることができない子どもたち。また、ご家庭の実情があるかとは思いますが、様々な出来事がある子育ての日々において、一助となる視点につながりましたら幸いです。



ヒント1 ♪ 子どもは、一人一人 ちがいます ♪



子どもには、「変わりやすいところ」と「変わりにくいところ」があるという視点をもつと「子どもの見方」がずいぶん違ってきます。「その子に合ったかかわり方を知る」ことが子どもの成長につながります。

「変わりやすいところ」⇒ 「できた！」とその子自身が実感できる課題や内容になっているか、失敗しても「よくがんばったね。」とねぎらってもらい「自分が大切にされている」という安心感を子ども自身が得られているかを見取り、かかわりましょう。

「変わりにくいところ」⇒ もともと「できること」と「できないこと」に大きなアンバランスがある子や発達がゆるやかな子がいます。随時、その子に応じた配慮や環境調整をご相談していきましょう。

ヒント2 ♪ 「ダメな子ね！」となる前に、子どもの気持ちになってみると♪

【例えば…「何回言っても言うことを聞かない子」の抱えている背景として、考えられる要因には…】

- ① 聞こえていない。⇒名前を呼んで、注目させてから話してみましょう。
- ② うっかり忘れている。⇒「なにをやるんだっけ？」「今は？」など、思い出す「きっかけ言葉」を話してみましょう。
- ③ 言葉の意味がわからない。⇒「おかたづけ」と言葉で言いながら、実際にやってみせ、言葉と行動を結び付けて、片付けをしてみましょう。
- ④ 注目されたくてわざとする。⇒叱責も注目されていると思ってしまうことがあります。よい行動を見つけた瞬間に注目し、タイミングよくほめましょう。

お子さまの育ちのことなどで、何か気がかりなことなどがありましたら、随時、学級担任や学年主任、または、特別支援コーディネーター（君島）などへお気軽にご連絡ください。日常的に取り組めそうな小さなご支援など、ご相談させていただきたいと思います。